

# 出資団体台帳

出資団体名	<b>26.一般財団法人高山市施設振興公社</b>
-------	---------------------------

所管課	総務課
-----	-----

## 1. 出資団体概要

(令和5年6月27日現在)

①法人分類	公益・一般財団法人 ( )		
②業務分類	その他 (施設管理全般)		
③主な活動範囲	市内規模 ( )		
④所在地	高山市神明町4丁目15番地		
⑤設立年月日	昭和57年9月30日		
⑥従業員数	役員	(常勤) 1人	(非常勤) 9人
	正社員	(常勤) 16人	(内出向) 0人
⑦役員等	役職名	氏名	市所属・職位
	代表者		
	役員		
⑧資本金	5,000 千円		
	出資者	資産種別	出資額 出資割合
	高山市	出えん金	5,000千円 100.0%
	他自治体		0.0%
	その他		0.0%
	【備考】		

## ⑨設立目的

定款に掲げる主な事業内容	現在の実施の有無		主な受益者
市の設置する施設等の維持管理及び運営に関すること	実施	理由 ( )	施設利用者
公の施設等の事業に係るPR、アンケート調査、自治振興事業に関すること	実施	理由 ( )	施設利用者
公の施設の利用者サービスの向上に関すること	実施	理由 ( )	施設利用者
高齢者雇用促進対策事業の振興及び調査研究に関すること	実施	理由 ( )	市民
市の地域振興のための物品等の販売に関すること	実施	理由 ( )	施設利用者
その他上記の目的達成に必要なこと	実施	理由 ( )	市民
		理由 ( )	
		理由 ( )	
		理由 ( )	
		理由 ( )	

## ⑩地域の関わり

市営駐車場（5か所）、高山市公設地方卸売市場、高山市政記念館及び城山公園の指定管理者として安定した施設運営を行っている。また、都市公園の管理及び市役所本庁駐車場の管理業務を受託している。駐車場管理業務において、安定した施設運営により観光都市の重要な機能を維持することで、地域貢献を果たしている。

## ⑪市民の関わり

地域の高齢者雇用の受け皿として機能しているほか、城山公園や都市公園の管理により市民の憩いの場を提供している。

## ⑫経緯

出資時の状況	昭和44年から、高山市が高齢者を直接雇用し市営駐車場の管理を実施していたが、昭和57年に高齢者の安定した雇用を図ることを目的に財団法人高山市施設振興公社を設立した。設立時の申請書には「高山市の委託を受け、市の設置する公の施設等の維持管理のほか、市の業務の一部を行うことにより高齢者の雇用促進を図るとともに、伝統的工芸品の振興に係る事業を行い、もって市勢の伸長と住民福祉の向上に寄与することを目的とする。」と記載されている。
その後の経緯	地方自治法の改正により平成18年4月から施設の管理運営については指定管理者制度に移行した。また、法人制度改革により平成24年4月に財団法人から一般財団法人に移行した。

## 2. 事業概要

①事業	②市事業	③種別	④業務内容、状況、課題等 (施設がある場合は、施設ごとの状況、公共施設等総合管理計画における方針を記入)	⑤事業収支	⑥定性的評価		
					市による 関与の必要性	民間による 代替性	事業の 採算性
市営駐車場指定管理事業	○	指定管理事業	神明駐車場、えび坂駐車場、花岡駐車場、空町駐車場、天満駐車場の駐車料金の徴収、減免、駐車料金精算システム等の管理、施設の維持管理等「継続」	黒字	有	有	有
公設地方卸売市場指定管理事業	○	指定管理事業	市場の秩序維持及び運営、施設の点検、調整等の維持管理関係団体との調整と指導等「継続」	黒字	有	有	無
市政記念館指定管理事業	○	指定管理事業	展示資料の保全 施設の観覧受付、使用許可及び案内業務 施設の清掃、除雪等の維持管理等「継続」	黒字	有	有	無
城山公園指定管理事業	○	指定管理事業	公園内の建物、遊具、遊歩道等の安全点検や補修等の施設管理 樹木の剪定、雪囲い等の樹木管理 公園内の清掃、草刈、除雪等の維持管理等「継続」	黒字	有	有	無
本庁舎駐車場管理受託事業	○	受託事業	発券機、精算機等の維持管理、使用料金の回収、駐車指導等「継続」	黒字	有	有	有
都市公園等管理受託事業	○	受託事業	公園内の建物、遊具、遊歩道等の安全点検や補修等の施設管理 公園、街路樹、まちかどスポットの樹木の剪定や雪囲い及び病害虫防除等の樹木管理と草刈や清掃等「継続」又は「譲渡」	黒字	有	有	無
自主事業		団体事業	指定管理施設を活用した市民向け体験イベントを開催 城山公園…歴史散策、市場…夏休み親子見学会など	赤字	無	有	無
物品販売		団体事業	市営駐車場4か所（神明、えび坂、空町、天満）に清涼飲料水自動販売機を設置（※利用者の要望に対応）	黒字	無	有	有

3. 財務状況

(1) 貸借対照表		(平成31年3月31日現在)		(令和2年3月31日現在)		(令和3年3月31日現在)		(令和4年3月31日現在)		(令和5年3月31日現在)	
項目	A	平成30年度 第 期		平成31年度 第 期		令和2年度 第 期		令和3年度 第 期		令和4年度 第 期	
		決算額	前年比増減	決算額	前年比増減	決算額	前年比増減	決算額	前年比増減	決算額	前年比増減
資産の部合計	A	144,508 千円	-	145,466 千円	0.7 %	141,400 千円	▲2.8 %	137,241 千円	▲2.9 %	140,808 千円	2.6 %
流動資産	B	135,361 千円	-	137,664 千円	1.7 %	133,598 千円	▲3.0 %	129,439 千円	▲3.1 %	133,006 千円	2.8 %
固定資産	C	9,147 千円	-	7,802 千円	▲14.7 %	7,802 千円	0.0 %	7,802 千円	0.0 %	7,802 千円	0.0 %
繰延資産		0 千円	-	0 千円		0 千円		0 千円		0 千円	
負債の部合計		22,286 千円	-	17,350 千円	▲22.1 %	27,790 千円	60.2 %	21,525 千円	▲22.5 %	23,150 千円	7.5 %
流動負債	D	18,139 千円	-	14,548 千円	▲19.8 %	24,988 千円	71.8 %	18,723 千円	▲25.1 %	20,348 千円	8.7 %
(うち借入金)	E	(0 千円)	-	(0 千円)		(0 千円)		(0 千円)		(0 千円)	
固定負債		4,147 千円	-	2,802 千円	▲32.4 %	2,802 千円	0.0 %	2,802 千円	0.0 %	2,802 千円	0.0 %
(うち借入金)	F	(0 千円)	-	(0 千円)		(0 千円)		(0 千円)		(0 千円)	
純資産の部	G	122,222 千円	-	128,116 千円	4.8 %	113,610 千円	▲11.3 %	115,716 千円	1.9 %	117,658 千円	1.7 %
資本金		5,000 千円	-	5,000 千円	0.0 %	5,000 千円	0.0 %	5,000 千円	0.0 %	5,000 千円	0.0 %
利益剰余金等		117,222 千円	-	123,116 千円	5.0 %	108,610 千円	▲11.8 %	110,716 千円	1.9 %	112,658 千円	1.8 %
健全性指標	債務超過の有無 (G)	目標：無	無	無	-	無	-	無	-	無	-
	自己資本比率 (G/A)	目標：50%以上	84.6%	88.1%	4.1 %	80.3%	▲8.8 %	84.3%	4.9 %	83.6%	▲0.9 %
	流動比率 (B/D)	目標：150%以上	746.2%	946.3%	26.8 %	534.6%	▲43.5 %	691.3%	29.3 %	653.7%	▲5.5 %
	固定比率 (C/G)	目標：100%以下	7.5%	6.1%	▲18.6 %	6.9%	12.8 %	6.7%	▲1.8 %	6.6%	▲1.7 %
	借入金依存度 (A/E+F)	目標：前年比較減	0.0%	0.0%		0.0%		0.0%		0.0%	

(2) 損益計算書		(平成30年4月1日から平成31年3月31日)		(平成31年4月1日から令和2年3月31日)		(令和2年4月1日から令和3年3月31日)		(令和3年4月1日から令和4年3月31日)		(令和4年4月1日から令和5年3月31日)	
項目	A	平成30年度 第 期		平成31年度 第 期		令和2年度 第 期		令和3年度 第 期		令和4年度 第 期	
		決算額	前年比増減	決算額	前年比増減	決算額	前年比増減	決算額	前年比増減	決算額	前年比増減
営業収益		219,926 千円	-	203,745 千円	▲7.4 %	142,642 千円	▲30.0 %	141,353 千円	▲0.9 %	169,953 千円	20.2 %
営業費用		208,883 千円	-	196,247 千円	▲6.0 %	157,076 千円	▲20.0 %	139,175 千円	▲11.4 %	167,939 千円	20.7 %
(うち売上原価) (対営業収益比率)		(145,032 千円)	(65.9%)	(135,840 千円)	(66.7%)	(96,863 千円)	(67.9%)	(77,513 千円)	(54.8%)	(107,863 千円)	(63.5%)
(うち人件費) (対営業収益比率)		(63,851 千円)	(29.0%)	(60,407 千円)	(29.6%)	(60,213 千円)	(42.2%)	(61,662 千円)	(43.6%)	(60,076 千円)	(35.3%)
〈営業損益〉		11,043 千円	-	7,498 千円	▲32.1 %	▲14,434 千円	▲292.5 %	2,178 千円	115.1 %	2,014 千円	▲7.5 %
営業外損益		0 千円	-	0 千円		0 千円		0 千円		0 千円	
〈経常損益〉		11,043 千円	-	7,498 千円	▲32.1 %	▲14,434 千円	▲292.5 %	2,178 千円	115.1 %	2,014 千円	▲7.5 %
〈当期純損益〉		8,105 千円	-	5,894 千円	▲27.3 %	▲14,506 千円	▲346.1 %	2,106 千円	114.5 %	1,942 千円	▲7.8 %

〈評価分析〉	コロナ禍からの回復基調があり、駐車場事業の復調が期待できる。借入金も無いため、今後も健全な運営が見込まれる。
--------	--

4. 市の財政的関与

区分	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
出資金	5,000 千円 (100.0%)	5,000 千円 (100.0%)	5,000 千円 (100.0%)	5,000 千円 (100.0%)	5,000 千円 (100.0%)
負担金、補助及び交付金					
指定管理料	-9,540 千円	-10,901 千円	27,567 千円	25,040 千円	-2,212 千円
その他	15,004 千円	18,883 千円	18,990 千円	18,990 千円	18,990 千円
備考	指定管理料及びその他(委託料) 令和4年度内訳 (-2,212千円と18,990千円) 神明駐車場 3,318千円 花岡駐車場 8,375千円 空町駐車場 15,094千円 天満駐車場 315千円 地方卸売市場 25,770千円 市政記念館 5,188千円 城山公園 6,816千円 本庁駐車場委託 4,990千円 都市公園委託 14,000千円				

5. 課題等

項目		市所管課	団体	
S W O T 分 析	内部分析	強み	<ul style="list-style-type: none"> <li>市が設置した団体であり市の意向に応じた運営が可能である。</li> <li>元市職員などの経験豊富な高齢者を雇用することで、安定した体制が構築できている。</li> <li>市内の観光スポットの近くに駐車場があり、安定した利用が見込まれる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>観光地の近くに駐車場があり、多くの方に利用いただける。</li> <li>経験豊かな高齢者を雇用することで、安定した人員の確保ができています。</li> </ul>
		弱み	<ul style="list-style-type: none"> <li>民間事業者としてサービスの向上や収益増加が見込める発想やノウハウが少ない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>冬は観光客が少ないため、通年での安定した収益が見込めない。</li> </ul>
	外部分析	機会	<ul style="list-style-type: none"> <li>コロナ禍からの回復による施設需要の増加</li> <li>個人による自家用車利用など旅行形態の変化</li> <li>ホテル増加による駐車場利用の増加</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>中部縦貫自動車道の整備、インバウンドなどによる安定した利用が見込まれる。</li> </ul>
		脅威	<ul style="list-style-type: none"> <li>市内の駐車場の整備方針を見直し、収益率の高い駐車場の廃止を検討しているため、収益率が低下する可能性がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自然災害、天候不良など、予期せぬ事態が発生した場合に利用者が大幅に減少する。</li> </ul>
事業面 (必要性、公益性、採算性、収益性など)		<ul style="list-style-type: none"> <li>新型コロナウイルス感染症の5類への移行により駐車場の利用者が回復してきているが、コロナ禍前の水準までは戻っていない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>新型コロナウイルス感染症の5類への移行により駐車場の利用者が回復してきているが、コロナ禍前の水準までは戻っていない。</li> </ul>	
財政面 (財務状況の現状や将来の見通しなど)		<ul style="list-style-type: none"> <li>資金力があり収支も良好であり問題ない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>まちなかの民間駐車場の整備状況により市営駐車場を廃止することとなった場合には収益が減少する可能性がある。</li> </ul>	
施設・設備 (所有する建物や設備等の状況など)		<ul style="list-style-type: none"> <li>施設の老朽化に伴い、施設および設備の計画的な改修が必要である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>施設の老朽化に伴い、施設および設備の計画的な改修が必要である。</li> </ul>	
組織・人員体制 (役員や従業員等の状況など)		<ul style="list-style-type: none"> <li>元市職員などの経験豊富な高齢者を雇用することで、安定した体制が構築できている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>経験豊かな高齢者を雇用することで、安定した人員の確保ができています。</li> </ul>	
公共施設等総合管理計画 (方針と今後の考え方)		<ul style="list-style-type: none"> <li>民間の駐車場の配置状況、市街地における車両制限のあり方等を踏まえ駐車場のあり方について検討する。(中期)</li> <li>卸売市場は老朽化が進み、耐震性も低いいため、新施設の整備を進める。(令和4年度～)</li> </ul>	—	
自由記載 (団体や事業の今後のあり方や果たすべき役割について)				